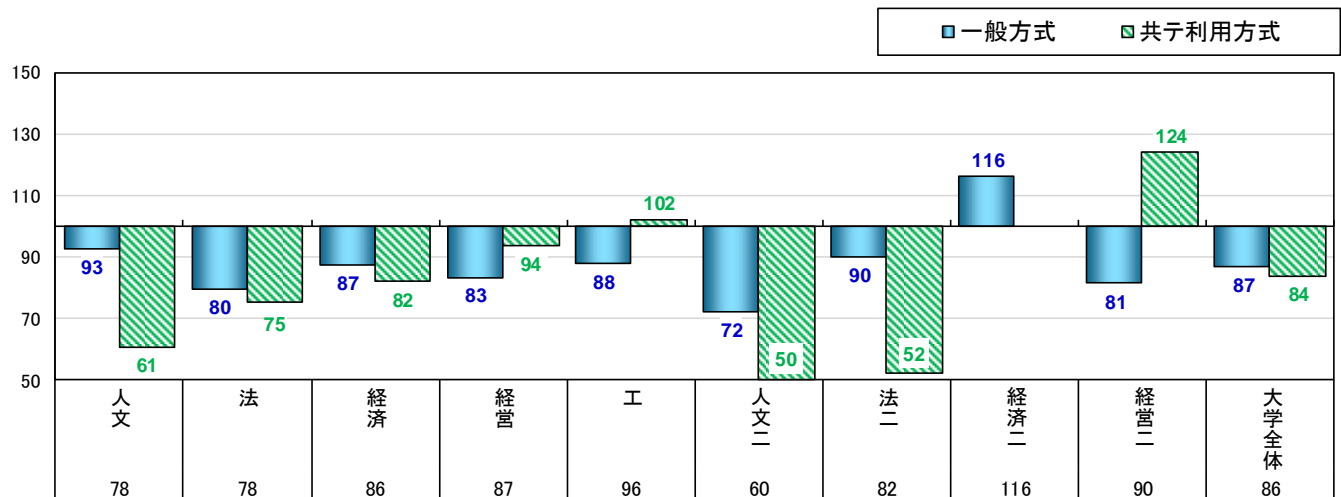


2021 年度入試状況分析【私立大】

北海学園大：大学全体では4年ぶりに減少、昼間部は5学部全て減少 一般：-681人 共テ：-429人



入試変更点

選抜方法：人文二…〈共テ・II期〉廃止
 経営二…〈一般・英語外部試験利用〉新規実施
 募集人員：経営(経営)…〈一般〉84人→69人、〈共テ〉40人→55人
 (経営情報)…〈一般〉70人→55人、〈共テ〉40人→55人
 入試科目：人文(日本文化)、法、経済、工(建築除く)、法二、人文二(日本文化)、経済二
 …〈共テ〉英(筆記)→英(リーディング)+英(リスニング)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、1,110人(86)で減少、コロナ禍の影響が厳しかった札幌都市圏への敬遠傾向と3年連続増加の反動で減少。昼間部のみでも(86)の減少。学部別では、2部の(経済二)(116)のみ大幅増加で、他の学部は全て減少。方式別では、一般方式(87)は6年ぶり減少。共通テスト利用方式(84)は、大幅減少で2年連続減少。昼間部のみでは、一般方式、共通テスト利用方式のいずれも(86)の減少。

〈一般方式〉

- 人文(93)は、やや減少で4年ぶり減少。学科別では、(英米文化)(84)は大幅減少、(日本文化)(102)は前年度並。
- 法(80)は、系統への人気低下と前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(87)は、系統への人気低下と3年連続増加の反動で減少。
- 経営(83)は、大幅減少で3年ぶり減少。学科別では、(経営情報)(70)が大幅減少、募集人員(前年度募集人員対比指数79)も減少したが、志願倍率は6.3倍→5.6倍へダウン。(経営)(94)はやや減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数82)が減少で、志願倍率は6.6倍→7.7倍へとアップ。
- 工(88)は、系統への人気上昇はあるが、2年連続大幅増加の反動で減少。学科・コース別では、(社会環境工/環境情報)(112)は唯一増加した学科で3年連続増加、(電子情報工)(100)は前年度並、他の3学科はいずれも大幅減少。

〈共通テスト利用方式〉

- 人文(61)は、3年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(英米文化)(57)、(日本文化)(61)といずれも大幅減少。
- 法(75)は、大幅減少で3年ぶり減少。方式別では、〈II期〉(195)が倍増に近い大幅増加で、前年度の反動による増減を継続。他の2方式はいずれも大幅減少。
- 経済(82)は、大幅減少で2年連続減少。方式別では、〈II期〉(275)が前年度減少率60%以上激減の反動で、倍増を超える大幅増加。一方で、〈I期〉(75)は2年連続減少。
- 経営(94)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(経営)(108)は増加だが、募集人員(前年度募集人員対比指数138)も増加で、志願倍率は7.7倍→6.0倍へダウン。(経営情報)(78)は大幅減少で、2年連続減少。募集人員(前年度募集人員対比指数138)増加も影響し、志願倍率も7.2倍→4.1倍へダウン。方式別では、〈II期〉が(経営)(311)が3倍増以上、(経営情報)(146)が約1.5倍増といずれも増加が目立った。
- 工(102)は、前年度並。学科・コース別では、(社会環境工/環境情報)(157)が大幅増加で3年連続増加、(社会環境工/社会環境)(124)は大幅増加、(電子情報工)(107)はやや増加で、いずれも前年度の反動による増減が継続。(生命工)(82)は、3年連続増加の反動で大幅減少、(建築)(90)は、2年連続減少。方式別では、〈I期〉(102)は微増だが3年連続増加、〈II期〉(100)は前年度半減以下だった反動はなく、志願者数は前年度と同数だった。